



「第65回わんこそば全日本大会」 出場

連合花巻北上地協は2月11日（土・祝）花巻市文化会館で開催された「第65回わんこそば全日本大会」団体の部に出場致しました。

同大会は、3人一組の小学生の部（10組）、中学生以上の団体の部（40組）、個人の部（30人）の3部門に県内外から180人が出場。

3年ぶりの開催で、応募多数による抽選はあったようですが、当地協からは青年委員会より「連合花北Aチーム」（高橋大地さん：県交通労組、伊藤秀揮さん：トヨタ紡織労組、南川雄平さん：ジャパンセミコンダクター労組）、地協選抜の「連合花北Bチーム」（高橋信秋議長：東京製綱労組、小林洋介さん：和同産業労組、高橋志往さん：後藤製作所労組）の2チームが出場し胃袋の限界に挑戦致しました。

コロナ禍により声出しの応援は出来ませんでしたが、地協横断幕や応援うちわで盛り上げ5分間でAチームがそれぞれ70杯・63杯・112杯の245杯、Bチームが103杯・113杯・148杯の364杯を食しました。

（大会では1玉10グラムに統一し、10杯でかけそば1杯分のです）

大健闘を見せるも、団体の部1位は「最速ファイターズ2023」（東京都）で509杯、2位は「おっさんずデブ」（花巻市）475杯、3位は信州蕎麦大盛愛好会（長野県）456杯と、入賞にはほど遠い食杯数ではありましたが、早く・多く食べる方を間近で拝見し、来年へのリベンジと青年委員会の結束、そして連合のPRにつながりました。

